

学校名	三郷市立幸房小学校
所在地	三郷市茂田井 8 8
電話	0 4 8 - 9 5 2 - 0 2 1 1

1 本校の概要

学校経営の柱に知力・心力・体力・読書量の4本を掲げ、「1冊の本との出会い 笑顔と気力あふれるワクワク幸房」を研究テーマに学校全体で読書活動を推進している。児童数 1,401 名、46 学級（特別支援学級4学級を含む）の大規模校であり、広々とした学校図書館を活用した教育活動を行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

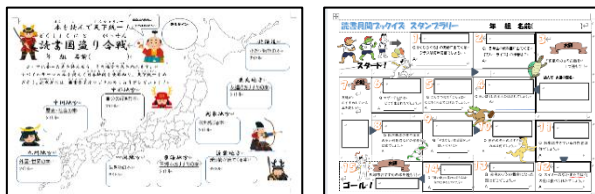
- ア 読書に親しむ態度や読書習慣に関する取組
- イ 各教科等における学習に結び付けた取組
- ウ 家庭・地域との連携

(2) 実践の概要

- ア 読書に親しむ態度や読書習慣に関する取組
 - ・ 毎週金曜日の読書タイムでは、自由読書、教員やボランティアによる読み聞かせ、ビブリオバトルなど子供たちが本に関心をもち、読書に親しむことができるように取り組んでいる。



- ・ 今年度の10月の読書月間には、図書委員のアイデアをもとにしたイベントを実施した。全校児童にとって魅力的なイベントを実施することで、読書活動への意欲を高めることができた。



- ・ 夏休みにゲストティーチャーを招き「図書館を使った調べる学習コンクール」の講座を行った。また、「全国家読うびんコンクール」「読書感想画コンクール」にも全校で参加している。
- ・ 児童、教員のおすすめの本を紹介したカードを図書館や廊下に掲示し、新たな本選びに生かせるようにしている。

イ 各教科等における学習に結び付けた取組

- ・ 学校司書と連携し、図書館オリエンテーションや国語の発展読書、関連読書のブックトークを行い、児童がより詳しく学ぶことができる環境を整えている。また、レファレンスカードを図書館や教室に常設し、いつでも学校司書に相談できるようにしている。



- ・ 市立図書館と連携し、授業に必要な図書資料を取り寄せ、児童の主体的な学びを支援している。

ウ 家庭・地域との連携

- ・ 地域の図書ボランティア「おはなしのブーケ」による読み聞かせを実施している。今年度から朝の読書タイムだけでなく、低学年対象の昼の読み聞かせも行っている。また、ボランティアの方が選定した本のリストを各教室に掲示するなど、全校児童が楽しみながら本に関心をもてるような工夫を行っている。
- ・ 毎月23日を「家庭読書の日」とし、家族で本を読む機会を設定している。心に残った場面の絵や感想を記入したカードを図書館に掲示している。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

図書委員が手掛けた読書に関するイベントや掲示を充実させることで、児童が様々なジャンルの本に親しむ機会が増え、読書の量と質が向上した。

(2) 課題

「三郷おすすめ本」の読破率と高学年の図書館利用を向上させるために、より一層魅力ある図書館づくりを行っていく。

(3) おわりに

今後とも学校図書館教育を全校体制で進めることで、児童が本と豊かに関わり、本との出会いを楽しむことができるようにしていきたい。